



上野千鶴子が語る



# 当事者主権—私のことは私が決める

「私は私、ありのままの私として生きたい」

社会的弱者が当事者として発言しつつある～いま当事者が社会を変える



日時：2005年3月26日(土)

13:00～15:00(開場12:30)

会場：ハートフルスクエアG大研修室

(JR岐阜駅東・岐阜市女性センター)

参加費：1,500円

定員：100人(※要申込み・事前振込み)

《主催「女あそびの会」》

《お申し込み&お問い合わせ》

世話人 寺町みどり(T/F 0581-22-4989)

《参加費・郵便振替口座》

口座番号 00830-0-80951

加入者名「米ネットワーク」

## ～上野千鶴子(うえのちづこ)プロフィール～

東京大学大学院人文社会系研究科教授。社会学者。フェミニズムの旗手として、鮮やかな論説を展開する一方、セクシュアリティ、介護、労働、教育、文学などの分野で、ジェンダーの視点から研究を続けている。

「差異の政治学」「近代家族の成立と終焉」(岩波書店)、「ナショナリズムとジェンダー」(青土社)、「国境おかまいなし」(朝日新聞社)、「さよなら学校化社会」(太郎次郎社)など著書多数。共著に、「当事者主権」(岩波新書)、「戦争が遺したもの」(新曜社)、「結婚帝国 女の岐かれ道」(講談社)、「ことばは届くか」(岩波書店)、「市民派政治を実現するための本」(コモンズ)など。

## ～「女あそびの会」とは～

「女あそびの会」は、上野千鶴子さんの著書(「女遊び」(学陽書房)から命名)の読書会です。4年前から、岐阜の女たちで著書を読みすすめ、昨年12月に「当事者主権」(中西正司・上野千鶴子著、岩波新書、2003)を読み終わりました。フェミニズムから当事者主権へ、上野千鶴子さんの思いを生ライブで聴きたい、と講演会を企画しました。